

日本共産党

高槻市議員

きよた 純子



ニュース

2019年11月12日
NO. 83

発行：日本共産党高槻市議員団 きよた純子
連絡先：議員団控室
TEL072-674-7230 FAX072-674-3202
上本町3-25 TEL/FAX. 676-5068

参院選政党別立候補者の女性の割合

自由民主党	15%
立憲民主党	45%
国民民主党	36%
公明党	8%
日本共産党	55%
日本維新の会	32%
社民党	71%
れいわ新撰組	20%

今年7月の参議院議員選挙は、各党に候補者を男女同数とする努力義務が課せられた「政治分野における男

男女平等のレベルを示す「ジェンダーギャップ指数」で日本は149か国中110位。ジェンダー平等社会実現を求める運動は世界でも、日本でも進められていま

女共同参画法」が施行されて初めての国政選挙です。日本共産党は6月にジェンダー平等社会の実現のための政策を打ち出しました。その一部を紹介します。



一人ひとりが大切にされ、自分らしく生きられる社会を

LGBT・SOGIに関する差別のない社会をつくりまします

電通総研による

2015年の調査によると、7.6%（13人に1人）の人がLGBTなどの当事者であると答えています。多様な性のあり方への無理解や偏見に苦しみ、自尊心を育てずにいる子ども、アウティング

●性別適合手術の保険適用の拡充、学校教育や企業内研修、当事者である子ども・若者のケアなど、社会のあらゆる場面で権利保障と理解促進をすすめる

高槻市議会での取り組み

2018年9月議会（本人の性のあり方を同意なく第三者に暴露してしまうこと）の問題など多くあります。

日本共産党の政策

- 同性婚を認める民法改正を行う
- 同性カップルの権利保障をすすめるパートナーシップ条例・制度の推進
- 野党が共同提出している「LGBT差別解消法案」の成立をめざす

日本共産党高槻市会議員団は、今年6月議会での市長への代表質問でハラスメントをなくす取り組みや、全国20自治体（2019年4月現在）で実施されている同性パートナーシップ条例制定を高槻市に求めました。

高齢者無料パス見直し

専門分科会で2回目の審議(11月5日)



次回は11月21日(木)14時から分科会(市役所本館3F)を開催。分科会の最終意見をまとめます。それを受けて、市が敬老パス見直し(案)を検討することになっています。

※傍聴人数が多いと抽選(13:30)になります。

私は、「高齢者の敬老パスは、存続し、高齢者の負担は増やさずに、市の市バスへの補助金を増やすことが必要」と訴えました。

他の委員からは、外出機会が減ることを懸念する声。有料化はやむを得ないとの意見。「資料が不十分。これでは、判断できない」との審議のすすめ方について疑問の声などあり、意見がまとまりませんでした。

※LGBTは、レズビアン(女性同性愛)、ゲイ(男性同性愛)、バイセクシュアル(両性愛)、トランスジェンダー(心と体の性が一致しない人)の英語の頭文字で、性的少数者の総称です。同時に、性的指向や性自認はさらに多様です。そこで、SOGI(ソジ)という言葉も使われるようになっていきます。セクシュアル・オリエンテーション(SO=性的指向)とジェンダー・アイデンティティ(GI=性自認)の頭文字からつくられた言葉で、性的少数者の人も、異性愛者の人も、すべての人の多様な性的指向・性自認を認め合おうという意味で使われるようになっていきます。

小中学校の不登校支援の強化を

小中学校の長期欠席（年間で30日以上欠席）の人数が増えています。長期欠席は小学校261人（平均で1校に6人）、中学校432人（平均で1校に24人）です。

中学校の長期欠席の主な理由是不登校が203人、病欠欠席が139人です。長期欠席の病気で休む子は適応障害の子も多いとされています。

適応障がいの子どもは、難しい計算ができず、化学に興味がある子など、興味のあることを追求して、大人になつてその能力を発揮して活躍している人もいます。大人になるまで適応障がいと分か

支援充実へ、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの増員を

いじめ、不登校など問題をかかえる子どもへの支援は、学校の中だけでは限界があり、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門的な支援。困難を抱える子どもの場合、家庭環境にも一歩踏み込む支援が必要であり、その役割は大事です。

大阪府にスクールカウンセラー増員求める

スクールカウンセラーは大阪府の予算で、各中学校区に18人配置。年間210時間派遣されています。緊急の場合は市が費用を負担しています。市費での緊急派遣は、2018年度で前年より、約66時間増加して

います。

スクールカウンセ

ラーの市の緊急派遣

時間数も増え、府のス

クールカウンセラーの

予約はなかなか取れな

いという話も聞いてい

ます。日本共産党市会

議員団は府に対して派

遣回数を増やすよう働

きかけを高槻市に求め

ています。

支援が必要としている子どもが増加

高槻市はスクール

ソーシャルワーカーを

3人配置。対応した、

昨年度の子どもの人数

は前年度より52人増

え、1223人です。

1人で約407人を支

援したことになります、十

分な体制とはいえませ

ん。1223人のうち、

2回以上支援した子ど

もは、808人。その

主な問題は、発達障害

家庭環境、不登校、児

童虐待などです。何度

も支援を必要とし、深

刻な問題を抱えている

子がそれだけ多いとい

うことをあらわしてい

ます。

困難な状況にある子

どもが増える中、スクー

ルソーシャルワーカー

の増員が必要です。

後期高齢者医療制度、高すぎる保険料の軽減を

昨年度、保険料の改定がおこなわれ、全国平均保険料は月額5857円。大阪の保険料は月6752円で、年額8万1024円と高い保険料です。

上がり続ける後期高齢者の保険料

収入（単身・年金のみ）別、年間保険料	2018年度	2016年度
80万円	5,149円 （-15円）	5,164円
168万円	22,573円 （+7,019円）	15,554円
192万円	64,850円 （+18,467円）	46,383円

2008年の制度導入当時あまりに大きな負担だと、国は、低所得者の保険料を軽減する仕組みをつくりました。しかし、その特例軽減を2017年度から段階的に廃止し、75歳以上の6割の保険料は2510倍に跳ね上がりました。

低所得者への保険料3倍化 消費税10%とセットで改悪

今年10月、年金収入が年80万円以下の低所得者（全国で約378万人）の保険料軽減措置が廃止されました。保険料は3倍化、年額で平均1万3500円（2020年度）に跳ね上がります。

減らされてきた高齢者医療への国庫負担を抜本的に増額し、保険料・窓口負担の軽減が必要です。

12月議会日程	
11月28日(木)	本会議／
12月2日(月)	本会議／質疑
4日(水)	文教にぎわい委員会 福祉企業委員会
5日(木)	市民都市委員会 総務消防委員会
16日(月)	本会議／採決 一般質問
17日(火)	本会議／一般質問

ぜひ傍聴をお願いします。
※いずれも午前10時開会です。

きよた純子

～お気軽にご相談を～

※留守の場合は必ず、留守電話に氏名と連絡先の録音をお願いします。

市政相談

電話でご連絡ください
676-5068